

国際学級について

1 国際学級とは

外国人児童に多様な教育の機会を提供するため、通常学級に外国人児童を受け入れるESC(English Support Course)を設置し、**ESCの児童に対して英語で授業等を行う**学級のことで、平成24年度から東町小学校で実施しています。平成29年度から、南山小学校の1年生に国際学級を開設しました。(30年度以降も順次1年生に開設していきます)。

対 象 港区在住の外国人児童(外国籍のみ)で、英語能力を有する児童

- 日本国籍を有する帰国児童や二重国籍児童は、入級できません。
- 入級にあたり、英語能力を判定します。英語能力が十分でない場合、入級できないことがあります。

国際学級の特徴

- ◇ESCを設置した学級には、日本人児童と外国人児童がともに在籍します。
- ◇ESCには、国際学級講師(EST=English Support Teacher)を配置します。ESTは、ESC児童に対して英語で授業等を行います。
- ◇日本人児童・外国人児童の双方が、多様な文化や価値観に触れることができます。

受入児童数 1学年に10人以内

<留意事項>

- ・国際学級は、**日本人児童が英語を話せるようになることを目的とするものではありません。**
- ・教育委員会では、児童の適正な就学を確保するため、家庭訪問による本人確認や、賃貸借契約書等の「居住を証明する書類」を確認するなど、**居住実態の厳正な確認を行っています。**

2 国際学級での授業の実施方法など

- 2学級以上になる場合、1学級にのみESCを設置します(他の学級は日本人児童のみ在籍)。
- ESC児童に対して英語で授業等を行うESTを配置します(ESTは学年に1人の配置)。
- 基本的な学校生活(朝の会、帰りの会、給食など)、社会・理科・生活科(1・2年)・音楽・図工・体育・家庭科(5・6年)の授業 ⇒学級担任とESTの2人の指導で、ESC児童と日本人児童が同じ教室で学習
- 国語・算数・社会の授業 ⇒ESC児童は、日本人児童とは別室で、ESTにより英語で授業を受ける。

授業のイメージ(1年生・2学級の場合)

□基本的な学校生活、生活科・音楽等の授業



同じ教室で授業

□国語・算数の授業



別室授業